

令和6年度 椎葉村立松尾小学校 学校運営協議会評価書

(4段階評価)

4 期待以上

3 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1 改善を要する

■ 学校経営ビジョン

「やさしい子ども かしい子ども たくましい子ども 笑顔いっぱい松尾小」

- 1 学校生活（学習）を楽しむ・・・児童が笑顔になり、主体的・対話的で深い学びをしながら、たくましく生きていくための力を身に付けていく学校
- 2 仕事を楽しむ・・・教員が笑顔になり、切磋琢磨しながら「教師力」を向上させることができるチームとしての学校
- 3 協力を楽しんでいただく・・・学校支援態勢が確立され、家庭や地域の方々が、笑顔で惜しみなく児童の健全な育成に向け、協力してくださる安心・安全な学校

■ 学校の教育目標

「心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成」

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	学校 運営 協議 会評 定	学校運営協議会評価コメント
子どもの人格や人権を大切にした指導	<p>○子どものよさを見出して称賛の声かけ ・保護者と指導のよさの共有</p> <p>○特別支援の視点に立った指導の工夫 ・ユニバーサルデザインの視点に立った学習環境・指導の工夫</p>	<p>○委員会活動や係活動など、子どもたちの自主性・主体性が図られる工夫を行った。その結果、責任感が育ち、積極的に活動する姿が見られた。</p> <p>○全校朝会では新聞掲載や健康頑張り週間、作品入選などの表彰の場の設定し、また学級の帰りの会では「今日のキラキラさん」など、お互いのよさを認め合う場を設定したことで、自己肯定感を高めることができた。</p> <p>○学級・学校での子どものがんばりを、学級通信で意識的に保護者に、学校通信で月1回保護者・地域にお知らせしたことで、学級通信・学校通信を子どもたちを称賛する場にすることができた。</p> <p>○特別支援エリアコーディネーターの講義を職員研修に位置づけ、年3回程度実施したことで、教職員の意識は高まり、学習環境の整備や指導の工夫につなげることができた。</p>	3	3	<p>○全校朝会等で、お互いのよさを認め合う場を設定していることは、子どもたちの自信につながる。</p> <p>○委員会や係活動を通して、全員が自分の役割に対する責任感を持っていることが、子どもたちの様子を見て、とても伝わってくる。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点に立った工夫は、社会的意義も大きく、素晴らしい取組だと思う。</p> <p>○学校通信で、子どもたちのがんばりを見ることで、直接、褒める機会が生まれた。</p> <p>○地域の方々も月1回の学校通信を楽しみにしているので、今後も継続して発行して欲しい。</p> <p>○宮崎日日新聞の若い目を楽しみにしている。学校通信などで、子どもたちの学校生活の様子を知ることができる。</p>

授業の工夫改善（個別最適な学習）	<p>○「ひなたの学び」の授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学習の在り方の工夫 <p>○ＩＣＴ機器の効果的な活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に合った機器の利用 	<p>○学習指導案を書く授業を一人２回実施する予定（既に１回は実施済み）があり、教師の授業力を高めることにつながった。</p> <p>○どの学年においても単元テストの学級平均は８５点以上であり、個人差はあるものの、学力の定着が図られている。</p> <p>○集会活動や学校行事、授業において、自分の思いを伝える場の工夫を行ったり、学び合いの場をつくったりしたことで、「ひなたの学び」の具現化を図ることができた。</p> <p>○授業の後半にキュピナを活用したり、表現活動でロイロノートを活用したりしたことで、個別最適な学びが実現できた。</p> <p>○県教委や村教委が主催するＩＣＴ研修会に全職員積極的に参加したことで、教職員のＩＣＴ活用スキルが高まった。</p>	3	3	<p>○学級平均（単元テスト）は８５点以上と、学力の定着が継続できている。個人差の解消のため、個別最適な学習支援を引き続きお願いしたい。</p> <p>○どの学年においても、学力の定着が図れているのは、それぞれの授業で、先生方が工夫し、指導しているからだと思う。今後も指導の工夫をしていきたい。</p> <p>○学校運営協議会の際に、授業参観をしているが、教師・子どもたちが熱心に授業に取り組んでいる様子がわかる。発表も、はっきりとした元気のいい声で受け答えをしていて、とてもよい。</p> <p>○複式指導については学力が十分につくかの不安もあるが、ＣＲＴの結果などから、本校の児童の学力も十分高いことを知り、安心した。引き続き指導の工夫と充実を図って欲しい。</p> <p>○ＩＣＴ機器の活用とあわせて、「書く」ことの大切さも踏まえて、指導していったらいい。</p>
保護者・地域との連携	<p>○基礎体力の向上</p> <p>○健康・安全意識の向上</p>	<p>○学校運営協議会では授業参観を毎回位置づけ、学習の様子を見ていただいた。第２回は全職員と委員との熟議を予定していたが、多くの委員の方の御都合が悪くなったため、延期した会では全職員との熟議を行うことができなかった。次年度は全職員との熟議の場を設定したい。</p> <p>○月１回の創立１５０周年実行委員会を保護者や公民館などの御協力のもと、計画的に実施することができた。</p> <p>○回覧板や村内放送を有効に活用し、また組合長の御協力のおかげで、全体で２００名あまりの参加の記念祭を行うことができた。当日の運営もスムーズで、地域の方々の評価も高かった。</p>	3	3	<p>○年間を通した行事において、保護者・地域との連携がとても図られていたと思う。</p> <p>○運動会やスポーツ少年団の状況を見ても、基礎体力は向上していると思う。</p> <p>○実行委員会がすばらしい１５０周年記念祭であったと思う。</p> <p>○創立１５０周年記念祭は、すばらしいものだった。ＰＴＡ活動や授業のなかで子どもたちが作った手作りの梅干しや梅ジュースもとてもおいしく、よかった。</p> <p>○村内放送（オフトーク）で児童の表彰などの情報を流すとよいのではないかと。地域の方から称賛の声がけをしてもらうことで、児童はさらに自信をつけていこう。</p>

<p>ふるさとを愛する心の育成</p>	<p>○伝統継承、地域交流の推進 ○地域への発信</p>	<p>○地域のことを知り、地域の方々と接する機会を多く作ったことで、子どもたちの松尾地区への愛着を深めることができた。特に、150周年記念祭での劇などの発表で地域の方から得た高い評価は、子どもたちの大きな自信につながった。 ○大河内小は12年生がいないため、本校12年のユニット学習は深めることができなかった。次年度は、本校が主導して大河内小とのユニット学習を進めていくことになる。よりスムーズに接続環境が整えられるようにしていきたい。 ○3年生以上については、ユニット学習にも慣れ、そのよさを生かした学習活動が展開できた。指導方法の工夫については、まだまだ課題も多いので、今後、研修を行っていく。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>○松尾小学校は、地域の核であり、地域づくりには欠かせない。「松尾の子どもは松尾で育てる」この考えをもって、少しでも多くの方々が学校との関わりをもつべきだと思う。 ○神楽を学ぶことは松尾地区にとっては大変意義深い。今後も神楽についての学びを継続し、子どもたちの神楽についての興味関心を高めて欲しい。大人になった時に、その神楽に積極的に関わっていくことになるだろう。 ○授業の講師として、方言の指導をしたのだが、学校や子どもたちに、地域のことを知り、地域を愛する心を感じた。 ○150周年記念祭での劇では、代役の子（体調不良で欠席した子の代役）も見事に対応し、質の高い発表を多くの方に披露できたと思う。</p>
---------------------	----------------------------------	---	----------	----------	--